



東京都知事

猪瀬 直樹 様

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面への延伸について
(要望)

平成25年11月5日

東大和市

武蔵村山市

瑞穂町

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面への延伸について（要望）

紅葉の候、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃、東大和市、武蔵村山市及び瑞穂町の行政運営につきまして、特段の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、多摩都市モノレールにつきましては、平成24年度は1日平均で平成12年の開業以来過去最高となる12万5千人を超える利用がありました。また、日頃からウォーキングイベントをはじめとした沿線でのイベントを積極的に展開するなど、地域住民にとって重要であり、かつ、親しみのある交通機関として定着しております。

そのような中、平成12年の運輸政策審議会答申第18号において、「2015年までに整備することが適当である路線」に位置付けられている上北台から箱根ヶ崎間の沿線に存する東大和市、武蔵村山市及び瑞穂町では、自立した都市として持続的な発展を図るために、東大和市における地区計画の検討や武蔵村山市における都市核土地地区画整理事業の施行、瑞穂町に

おける殿ヶ谷土地区画整理事業など新青梅街道沿道のまちづくり積極的に取り組んでいるところであります。

低炭素型都市構造の構築や来るべき超高齢社会における高齢者の移動手段の確保等を図るためには、軌道系公共交通の整備が必要不可欠と考えます。

沿道市町においては、先に述べたとおり、商業をはじめ医療、文化及び交流など都市の枢要な機能が発揮されるようモノレール延伸に向けた地域環境を整えておりますので、東京都におかれましても、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸に向け、最大限の努力により、1日も早く事業化を図られることを要望いたします。

平成25年11月5日

東大和市長 尾崎 保夫



武蔵村山市市長 藤野 勝



瑞穂町長 石塚 幸右衛門

